伊場 哲也 議員

公共施設再編事業の進捗と将来展望について

問 **保育所再編事業の進捗状況と民営化や指定管理者制度による運営形態の変更に伴う成果及び評価を伺う。**

答 市の保育所再編計画に基づき再編事業を進めている。計画期間は令和4年度から18年度までの15年間、13か所ある公立保育所を6か所に統合、2か所を民営化する予定。最初の再編となる中央第二保育所とゆたか保育所の統合を旧青年の家跡地にふたば保育所として、4月に開所。現在、日の出保育所とみうら保育所の統合に向け、日の出保育所を統合保育所とする改修工事を実施しており、令和8年4月から供用開始予定。いいおか保育所は、民営化に向けて調査研究中。干潟保育所は、指定管理者制度による運営から、令和5年4月に完全民営化され、ひがた保育園として開園。民営化により、意思決定が迅速に行えるようになり、大型複合遊具の設置やお昼寝時の呼吸確認についてICT化を実施するなど、多様なサービス提供を行えるようになった。施設の維持管理についても迅速な対応が可能になり、運営面でも効率化が図られている。市のメリットは、施設の維持管理費の削減により、財政負担が軽減。保育の質の向上が図られ、民営化の成果があったと評価できる。

市の財政シミュレーションについて

問 **自主財源の確保・拡充についての戦略を伺う。**

答 第5次行政改革アクションプランに「自立のための財政戦略」を施策として掲げ、持続可能な財政基盤の強化を図るため、自主財源の確保に取り組んでいる。取り組み内容は、市債権の収入の確保、基金の計画的な運用、ふるさと応援寄附の推進、資産の有効活用と有益処分が挙げられる。

その他の質問事項

○小・中学校の学校再編の進捗状況
○飯岡体育館・飯岡野球場・干潟さくら台野球場の在り方検討状況
○健康関連施設の再編・統合
○まちかどギャラリー銀座・海上ふれあい館の将来展望

木内 欽市 議員

津波避難訓練について

問 **日経新聞でも『津波避難、渋滞対策さぐる「原則徒歩」の徹底難しく』こういうことになっており、福島辺りでも車での避難を認めている。ぜひ車での避難訓練を一度やるべきだと思うが見解を伺う。**

答 避難訓練については、原則徒歩で行っている。ただ、自動車での避難も考えられる。自動車での訓練実施に当たっては警察や道路管理者との協議、地域住民の理解と協力が必要となるので、今後課題を整理し、自動車での安全な避難方法についても検討していきたい。

滝郷診療所について

問 **滝郷診療所の建て替え予定について、どうなっているのか伺う。**

答 診療所は建設から54年ほど経過しており、老朽化しているが、都度修理・修繕をしながら使用している。まずは医師の招聘を最優先と考えている。

建設から54年経過している滝郷診療所

問 **中央病院の医師がやめると言ったら大騒ぎする。診療所も同じ、診療所は地元だけでなく、市にとっても大きなメリットがある施設。医師が1人来てくれるだけで、建物も補助金が出る、解体費も補助金が出る。そのほかに毎年約700万円の交付税措置を受けている。市長の考えを伺う。**

答 滝郷診療所については、これまでどおり、地域に密着した身近なかかりつけ医として運営を継続していく。そのためにも、医師の招聘を最優先事項として取り組んでいる。高齢化や人口減少などの社会情勢も見据えながら、住み慣れた地域で安心して医療を受け続けることができるよう、環境を整えていきたい。

ＱＲコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。